

# Vol.145



世帯数	3,125
人口	7,867
男	3,794
女	4,073

(8月末菊川の人口)



## イベントカレンダー

イベント	日	場所
下上運動会	10月20日(日)	菊川小学校
加見運動会	10月20日(日)	菊川中学校
菊川まつり	11月17日(日)	菊川小学校・幼稚園



### 各地で夏賑わう



加見夏祭りのようす



フラワーアレンジメントに挑戦!



そうめん流しで腹ごしらえ(学校に泊まる)

夏の恒例となった菊川子ども会主催「学校に泊まる」が今年も四熊小学校を会場に開催されました。参加者はウォークラリーをしながら四熊小学校を目指し、到着後は、そうめん流しやネイチャークラフト等に取り組みました。夜はカレー作りや肝試しなどを楽しんだ後に体育館で就寝。翌日解散するまで、会場は子ども達の歓声で賑わっていました。開催を支えた子ども会、ジュニアリーダー、おやじの会の皆さんお疲れさまでした。

公民館では夏休みの課題に取り組む講座が開催されました。寺子屋にはのべ650名が参加。すべての講座で申込み開始と同時に定員が埋まるほど盛況で、個性溢れる作品が出来上がっていました。地域住民や高校生等、多世代と触れ合う大変貴重な時間となりました。

また、各地区で夏の風物詩である盆踊りや夏祭りが開かれました。各地区とも出店や抽選会など趣向を凝らしたイベントで祭りを盛り上げ、地区住民や帰省した家族連れで賑わっていました。天候にも恵まれ、楽しい思い出のひとつになったのではないのでしょうか。来年も楽しみですね。

### ジュニアリーダー大活躍



菊川地区では地域活動に参加し、行事を支えるジュニアリーダークラブがあるのを御存知ですか？ジュニアリーダーは中学生や高校生を中心に構成されており、今年で結成8年目を迎えます。

活動を通して多世代間の交流を図りながらメンバーの主体性を磨くことを目的にしています。活動に興味がある方はお気軽に菊川公民館にお問合せください。

### 復興へ義援金



富岡分館で活動中のフラダンス教室のメンバーが今月、福島県・南相馬市を訪問されます。同教室は活動の一環として福祉活動を行っており、今年で7回目となったチャリティイベントで集まった収益を直接被災地へ届けられることとなりました。

同教室は今回の訪問について、「被災地の子ども達の教育に生かしてほしい。誰かのために頑張れる教室でありたい」と語られています。

### 菊川日和

トンカカ、カッカ、カッカ、カッカ、カッカとやぐら太鼓が夏の夜空に鳴り響き、さあ出番です。「待ってました」「じいじがんばれ」と声援が飛ぶ。

揃いのハッピー姿のちよこつと昔の侍ジャパンとなでしこの十人、今夜は練習を重ねた伝承の盆踊り、さんさの口説きの初披露です。「まあドキドキするね」「よっしゃがんばるでえ」と言いながら速くなったり遅くなったり時折ハモったりするのは愛嬌で「花のサハエー、ヨオラ、大江戸のアラ、ドシタイドシタイ」と皆で口説けば怖くない。いつやるの、今でしようと言わんばかりに口説きは進む。

踊りの輪の中に白く厚化粧、浴衣を意気に着こなした友がきなつて踊っている。偉そうに。ヤレヤレ、ヤレンノウ。(水津洋子)



### 下上地区さんさ保存会



保存会のみなさん

—女性の口説きは珍しいのではないですか。

(保)そうですね。なかなか無いと思います。太鼓に合わせて女性が音頭を、男性が拍子をとるように役割を分けています。実はうちわの裏に歌詞がみっちり書かれていますよ。

—練習はいつ頃から始められましたか。

(保)6月から毎週金曜日に練習をしていました。山本さんを先生に迎えてご指導いただきました。テープと合わせるころからはじめて、中学・高校生が叩く太鼓と合わせていきました。楽しく練習していましたよ。

—本番はいかがでしたか。

(保)気持ちよく披露することが出来ました。先生もわざわざ見に来られてうれしかったです。踊りやすかったという声もいただけて満足です。お祭りも盛り上がったのではないのでしょうか。

—今後の目標はありますか。

(保)約十年ぶりに復活した会ですから、月に1度くらいの頻度で継続して活動していきます。メンバーを増やして賑やかに楽しくやっているといいですね。

保存会は随時メンバーを募集中！興味のある方はお気軽に菊川公民館お問合せください！

かわいい笑顔を集めてみました。掲載可能な写真がありましたら、一言コメントを添えて広報部（菊川公民館内）までご連絡ください。



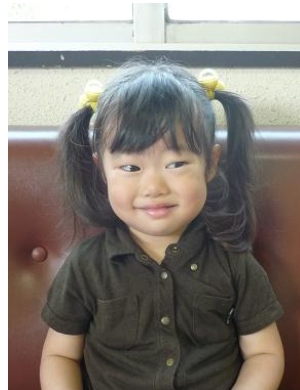
颯土朗くん（2か月）

元気に大きくなってね！



龍くん（1才）

1才おめでとう！



花音ちゃん（2才）

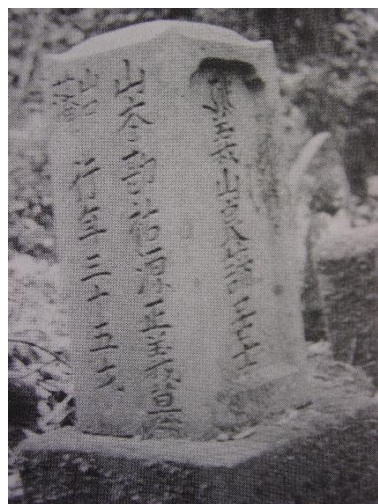
花のような美人になってね！

## 笑顔リレー

# 菊川 探訪

～第14回～

「山本 勘祐の墓」を偲んで

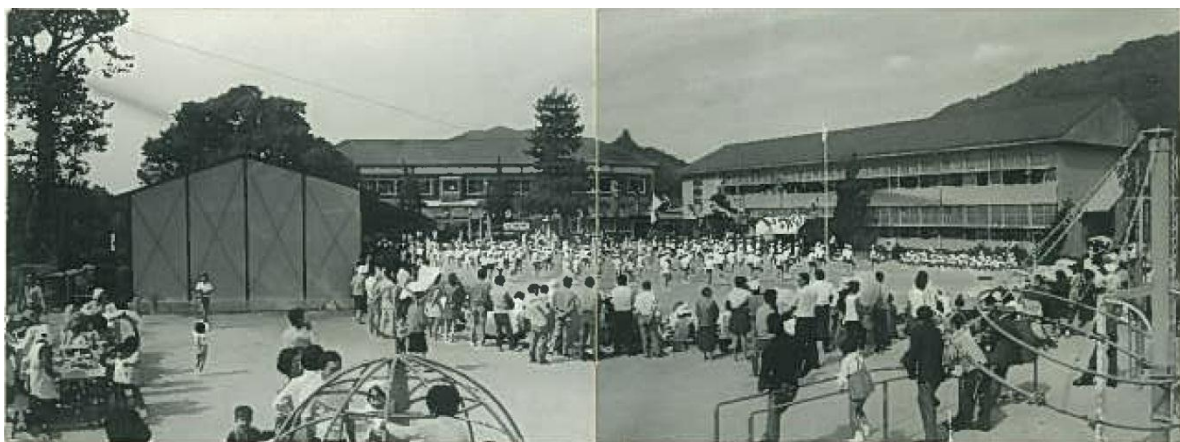


来年の大河ドラマは、「黒田官兵衛」である。豊臣秀吉の軍師であり、現代風に言えばブレイン（頭脳）である。武田信玄の軍師と言えば、「山本勘助」であり、独眼の異様な風貌で、ドラマではお馴染みであるが、史実はどうか？文献上では確認できてない。但し、実在については、疑問視されていたが、近年は、「山本勘助」に推定される可能性のある「山本菅助」の存在が、複数の文書上から確認されている。改名や別名も多く、影と謎の多き人物であるだけに、面白い。

蔵掛墓地にある「山本勘祐」の墓は、どうであろうか？（菊川むかしむかし）記載。調べると萩出身で「山本勘助（介）」は、奇兵隊設立当初のメンバーで、高杉晋作とも親しく、幹部として重要な任務をしているが、元治元年（1864年）長州藩では、色々な事件が起き、超多忙な年頃から、足跡が途絶え、後年編まれた名簿にその名がない。戦死者にも、除隊者にも名が無いから、あるいは、途中で改名して在籍したのかも知れない。この人物も謎多く、一字違いであるが墓の人物と同一人物か？なぜ、蔵掛に埋葬されたか？興味は尽きない。そんな訳で墓を探すが中々見付からない。幸い、昔この墓を見た「蔵掛の小林正彦さん（88歳）」の協力を得て、現地に行ったが、無数のツルや藪で、その墓石の存在も、倒壊や埋没が多いので、確認することは出来なかった。但し、小林さんの話から「この辺では大きな墓であり、墓自体の形や彫りが異彩を放っていて、何か謂われを感じた」と聞いた。残念ながら、時の流れで見付からないが、「山口藩」の文字や明治4年（廢藩置県実施）、年齢（行年 35歳 ・ 奇兵隊結成時 27歳）等から同一人物の可能性が強いと確信した。壮絶な一生であったらうと想像し、冥福を祈った。

あのころ。あの場所。

ふるさと菊川の昔の写真を紹介します。なつかしさと新しい発見に出会えるかもしれませんね。【大募集】菊川地区の昔の写真を探しています。ちょっとしたもので構いませんのでぜひご協力ください！お持ちの方は菊川公民館6（212801）までお願いします。



昭和47年10月1日 菊川小学校富岡校舎 最後の運動会



同じ場所から（現在の富岡公園）